

委嘱状交付式及び 第64回郡山市子ども・子育て会議 会議録

【日時】

令和7年8月28日（木）午前10時00分～午前11時40分

【場所】

郡山市役所 正庁

【次第】

- 1 開会
- 2 委嘱状交付（机上配付）
- 3 市長あいさつ
- 4 委員紹介
- 5 事務局職員紹介
- 6 会長及び副会長選任
- 7 議 事
 - （1）郡山市子ども・子育て会議について（こども総務企画課）
 - （2）郡山市こども・若者計画について（こども総務企画課）
 - （3）郡山市希望ヶ丘児童センターの運営管理について（子育て給付課）
 - （4）乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の状況について（保育課）
 - （5）保育所等の待機児童の状況について（保育課）
 - （6）放課後児童クラブの入所児童数・待機児童数について（こども総務企画課）
 - （7）その他
- 8 閉 会

【出席委員】

17名（敬称略）

滝田 一樹、阿部 光浩、伊藤 清子、安田 忍、首藤 亜希子、遠野 馨、
山上 裕子、國分 千恵、市川 より子、佐藤 明宏、伊集院 佳香、
鈴木 隆将、先崎 洋子、柳内 祐一、齋藤 幸愛、小野寺 羽音、杉澤 莉子

【欠席委員】

7名（敬称略）

志田 龍太、隅越 誠、桑島 有子、鈴木 綾、柳沼 克郎、渡邊 孝男、鈴木 ひかり

【事務局職員】

19名

こども部 : 伊藤 恵美（部長）、
伊藤 克也（部次長兼子育て給付課長
（併）教育委員会事務局学校教育部次長）、
田母神 裕一（部次長兼こども総務企画課長）、
宗形 直美（教育委員会事務局学校教育部次長（併）こども部次長）
こども総務企画課 : 中川 清能（課長補佐）、
島津 るみ子（こども企画係長）、
馬場 守吉（放課後児童サポート係長）、
子育て給付課 : 桜岡 智之（課長補佐）
東条 正徳（子育て事業係長）、
熊田 喜行（主任主査兼給付係長）
こども家庭課 : 早川 利郎（課長兼母子・父子福祉センター所長）、
若穂 富江（課長補佐兼女性・ひとり親家庭支援係長）、
佐藤 富美枝（母子保健係長）
保育課 : 宗像 秀樹（課長）、
浦井 康次郎（課長補佐兼保育士・保育所支援センター所長）、
川崎 聡（保育所管理係長）、
登柳 克史（保育認定係長）、
安藤 香（保育料係長）、
高橋 雅彦（保育事業支援係長）

【配布資料】

資料1 郡山市子ども・子育て会議について
資料2 郡山市こども・若者計画について
資料3-1 郡山市希望ヶ丘児童センターの運営管理について
資料3-2 郡山市希望ヶ丘児童センターR6 アンケート集計表
資料4-1～4-5 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の状況について
資料5 保育所等の待機児童の状況について
資料6 放課後児童クラブの入所児童数・待機児童数について
資料(当日配布) 0歳児養育支援給付金

1 開会 ～ 6 会長及び副会長選任

(中川こども総務企画課長補佐)

【会議内容の公開について】

【市長あいさつ】(代読：野崎 弘志 副市長)

【委員、事務局の紹介】

【会長及び副会長の選任】

委員より事務局一任の声があり、事務局案を提示。

出席委員全員の賛成により次のとおり選任された。

会長：山上 裕子 委員

副会長：先崎 洋子 委員

【会長及び副会長あいさつ】

【傍聴希望者が4名おり、郡山市附属機関等の会議の公開に関する要領の規定により会長が許可することとなっていることから、山上会長にお諮りし、許可を得る。】

<傍聴者が入室する。>

7 議事

(中川こども総務企画課長補佐)

「議事」に移るが、以降の会議の進行については、山上会長に議長をお願いする。

(山上議長)

議長を務めさせていただく。議事(1)郡山市子ども・子育て会議について事務局から説明をお願いする。

【事務局：田母神こども部次長兼こども総務企画課長から資料1に沿って説明】

資料中の8-1、8-2について、出席委員全員の賛成により資料のとおり承認された。※質問等はなし

(山上議長)

議事(2)郡山市子ども・若者計画について事務局から説明をお願いする。

【事務局：田母神こども部次長兼こども総務企画課長から資料2に沿って説明】

(山上議長)

意見等はあるか。

※なし

(山上議長)

議事(3)郡山市希望ヶ丘児童センターの運営管理について事務局から説明をお願いする。

【事務局：伊藤こども部次長兼子育て給付課長から資料3-1、3-2に沿って説明】

(山上議長)

意見等はあるか。

(遠野委員)

昨年度、センターの見学をした。遊戯室の冷暖房器具が古いように見受けられたが、今年度は暑い日が続き、問題がなかっただろうか。

(東条子育て事業係長)

問題なかった。設備について、指定管理者が管理する項目であり、適切に点検がなされていることを確認している。

(山上議長)

ほかに意見等はないか。

※なし

(山上議長)

議事(4)乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)の状況について事務局から説明をお願いする。

【事務局：宗像保育課長から資料4-1～4-5に沿って説明】

(山上議長)

意見等はあるか。

(市川委員)

保護者の就労要件を問わない制度となっているが、実際に利用された方の就労状況を分析してみてもどうか。

(宗像保育課長)

就労状況などの保護者の属性についても分析していく。

(山上議長)

ほかに意見等はあるか。

(杉澤委員)

個人の感覚として、こどもを預けることに対する不安や罪悪感みたいなものが強かった中で、本制度によって、就労の有無を問わずに預けられることは、画期的な事業だと思う。制度の利用登録者数が75人とあるが、実際に何人が利用したのか。また、対象となるこどもは6か月から3歳未満までということだが、どの年齢のこどもの利用が多かったのか。

(宗像保育課長)

利用登録者数が75人に対し、実利用者数は43人。

また、こどもは2歳児が多く、1歳児が5人、2歳児が38人であった。

(山上議長)

ほかに意見等はあるか。

(遠野委員)

資料としていただいたチラシに利用料金の記載がないが、記載したほうがいいのではないか。無料と勘違いする人もいるかもしれない。

(宗像保育課長)

QRコードで市ウェブサイトへ誘導している。

(遠野委員)

QRコードが分からない人もいるので、チラシの裏面に掲載するなど検討して欲しい。

(首藤委員)

チラシが分かりにくいと感じる、施設ごとに利用時間等を示した方がいいと思う。

また、私どもは市からファミリー・サポート・センターの運営を受託している。ファミリーサポート事業について、子どもの預かりをするが、こちらは特に資格は不要で、一般市民の方が預かりを行っている。こどもや保護者の状況によっては、保育所等で預かりを行うことも誰でも通園制度を利用できるのではないか。ファミリーサポート事業利用者に本制度を案内したり、逆にこども誰でも通園制度利用者に対し、ファミリーサポート事業を案内するような連携ができると良いと感じた。ついては、「こどもニコニコガイドブック」のファミリー・サポート・センター、一時預かり、こども誰でも通園制度の掲載箇所をまとめると、保護者はわかりやすいのではないか。

(宗像保育課長)

チラシについて、遠野委員からも御意見があったが、本来はこの表面と、対象施設とその利用時間や料金等を掲載した裏面の両面で作成するものであることを訂正する。チラシの完成版は、会議後に委員の皆様へ共有する。

「こどもニコニコガイドブック」については、こども誰でも通園制度は現状15ページに掲載されている。次年度のガイドブック作成にあたって検討する。

(山上議長)

ほかに意見等はないか。

※なし

(山上議長)

議事（５）保育所等の待機児童の状況について事務局から説明をお願いする。

【事務局：宗像保育課長から資料５に沿って説明】

(山上議長)

意見等はあるか。

※なし

(山上議長)

議事（６）放課後児童クラブの入所児童数・待機児童数について事務局から説明をお願いする。

【事務局：馬場放課後児童サポート係長から資料６に沿って説明】

(山上議長)

意見等はあるか。

(安田委員)

広報こおりやま８月号にて夏季教室について目にしていた。夏休み期間が終わったばかりなので次回で構わないが、実際に利用された児童の内訳とその評価を教えて欲しい。

(馬場放課後児童サポート係長)

夏季教室については、行健小学校の空き教室を利用し、今回は試行的に開設したところである。行健小学校、行健第二小学校、日和田小学校の３校から利用児童を募集し、１１名の応募があった。利用した児童とその保護者へのアンケート結果は概ね好評であり、放課後児童クラブ支援員からの話を伺う限りでは、好評であると聞いている。

(山上議長)

意見等はあるか。

※なし

(山上議長)

議事（７）その他について、事務局から何かあるか。

(伊藤こども部次長兼子育て給付課長)

本日配付した「０歳児養育支援給付金」について説明する。

【資料（当日配付）に沿って説明】

(山上議長)

意見等はあるか。

※なし

(山上議長)

すべての議事が終了したため、議長の席を下ろさせていただく。

8 閉会

(中川こども総務企画課長補佐)

以上をもって、第64回郡山市子ども・子育て会議を終了する。

以上